

# めだかの学校だより

平成22年2月1日  
第67号

学舎：東久留女木新田観音山  
「みどりの郷キャンプ場」内  
事務局：静岡県磐田市  
家田 529-20  
TEL0539-62-6691

## 校長訓話

第六十七回 校長 山中 幸子

あまりにも早すぎる校長就任に戸惑う。

めだかの学校を、そつとのぞいたのは  
昨年の三月のことだった。

登校時には、今村めだかの付き添いで、  
山道を一時間程のドライブ。軽のマニ  
アルタイプのワゴン車。ルンルン気分  
で走る。

校門近くで初めて出会ったのは、海  
老芋の伊藤めだか。掃除中でほうきを  
片手に笑顔で、初対面の挨拶を交わす。  
今村めだかに紹介され、親しみを強く  
感じた。人や自然の心を大切に、  
良き人達との素晴らしい出会いが  
待っている事を予感させる。

校風を理解するまもなく、給食係り  
に手を上げ、めだかの仲間に飛び込ん  
だ。

そこにはエプロン姿の男性。慣れない  
手付きでジャガイモの皮をむいてい  
る。手際よく盛り付けをする人達など、  
上下関係を感じさせない何と不思議  
な集まりなのだと感じた。

いろいろなめだかと遭遇。木工の服  
部めだか宅に押しかけるなど、もう一  
人の私が動き出した。立体博開催中  
は、ひよんな処、朝市で村木めだかと  
出会いあり。会場前のガラス工房も素  
適。特等席に駐車できた。ラッキー。  
いつの間にかメダカにはまった私  
に、新しい泳ぎ方を教えてくれた人。  
それは言い出しっぺこと・館長さんで  
もある榊原めだかだった。

『公民館の講座』にアシスタント役な  
のに、いつの間にかやら香草の先生役と  
して登場する。

ばらさんのお陰で素晴らしい仲間作  
りを有難う。感謝・感謝 です。

落ちこんでいるとき、仲間は元気を  
くれる。

頑張る介護が自分の全てと思い、義父  
母二人の介護にがんばるが空回りば  
かり。ストレスを抱えた日々。在宅介  
護からプロの力を借りながらの介護  
に切り替えた今がある。

出合いを大切に、笑顔、感謝、努力  
をめだかの学校で学び、プラス思考の  
人生を送る事が大切と思う。

今回微力ながら第67回校長を務  
めさせて頂く事になりました。



## めだかの学校伝言板

——第67回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／山中幸子

教頭／徳増兼弘

用務員／野島一男

給食係／山崎敏明・大谷洋介・村木謙弼・榊原淑友  
徳増兼弘・池田タキ江・山中幸子・今村純子  
大谷香代子・渡辺三ツ子(チーフ)

<学舎>静岡県浜松市北区引佐町東久留女木観音山  
みどりの郷キャンプ場 TEL なし

開校日／平成22年3月5日(金)6:20PMより

受付／村田徳治・本島真弓・田村進治・村松孝司  
齊藤昭(チーフ)

<時間割>

今回のテーマ「元気モリモリてんこ盛り おサラに盛ろう」

- 1時間目 社会 村松達雄先生  
「村松藤三郎異人伝？」
- 2時間目 家庭科 森下幸子先生  
「木登りはサルにまかせて漬け物石に？」
- 3時間目 国語 榊原淑友先生  
「(先生) ちょっとやりすぎたけど…モリの再生?!」
- 給食の時間～ひなご膳～  
10:15 閉校

# 泳ぎ回るめだかたち

■1300年の時を超えて舞う  
 ときは2009年12月、ところは大坂四天王寺太子堂。村松達雄メダカ、地元森町太子の前で、天宮神社十二段舞楽を舞い奏す。村松達雄メダカは「獅子」を舞う。生涯忘れることのできない感動をしたのは言うまでもない。この舞楽は、今から1400年前、大陸から仏教とともに聖徳太子によって伝えられた。天宮神社では、毎年1月に奉納されている。

## ■福霊(いなだま)の宿る村

鈴木一記写真展

地域を結ぶ民俗芸能 ひよんどり・おくない 鈴木一記メダカの写真展が平成22年1月9日、24日まで浜松市立引佐町図書館で。22年2月1日、7日までクリエート浜松ギャラリーで開催された。鈴木一記メダカ、こうした地域に残る民俗芸能や里山の原風景を仕事の傍らに撮りつつけている。引佐町久留女木にある棚田が休耕地化するのに危機感を抱き、棚田を借りて耕作にも励んでいる。まだこの写真展を見られていない方は、2月13日、2月28日まで、浜松市北区細江町気賀の細江町田園空間博物館で開催されていますので是非お出かけください。なお、ひよんどりの写真には、引佐町深川「寺野のひよんどり」に、地元の伊藤八右メダカが写っているかも知れません。こちらもお楽しみ。

## ■訪れた春野町長蔵寺の郷は

春を待つ草木の趣きでした

1月の下旬、妻と用事も兼ねて春野町の尾上美智子メダカのお宅へお伺いしまし

た。長蔵寺の郷は、枯れ葉を落としたものもあれば、つけたものも...まだ春を待つ里山の原風景でした。明美さんの用事を済ませ3人で散策。春はもう少し...草木は芽吹き、花をつけた風景は思うだけで楽しい。「浜松のオーブンガーデンに申請した」と尾上美智子メダカ。長蔵寺の郷ももうすぐ賑やかになりますね。

## ■第8回全国まちづくり交流会

in 沖繩・北中城2010

愛知県豊田市足助町から始まった全国まちづくり交流会。第8回は2010年7月2日(金)〜4日(日)。沖繩県中城村で行います。中城村には世界遺産の中城城跡と国の重要文化財の中村家住宅があり、それにあつい肝心(ちむぐくる)がまつちよんどろ。こちらは全国研修交流会と違つて、地域づくりの強者揃いが多い。お酒が飲めないとお変? (笑)。第10回は静岡県森町でやるぞ!と、腹を決めよう!!

## ■遠州に春の訪れを告げる

遠州路に春の訪れを告げる「遠州横須賀・三熊野神社大祭」、今年は4月2日(金)3日(土)4日(日)の3日間、城下町遠州横須賀は祭り一色に塗りつぶされます。江戸天下祭(神田・山王祭)の流れを汲む、13台の祢里(ねりいしん車)が、三社祭礼囃子の名調子につけて狭い町並みを曳きまわされます。祢里の上ではオカメ、ひよつとこが面白おかしく舞い踊り、江戸町火消の装束で身を固めた若い衆が、「したした」の声をかけながら優雅に練り歩きます。3日(土)AM10:30からは三熊野神社境内、13台の祢里が勢揃いしての「奉納祭」、4日(日)PM9:00には祭りのフィナーレ「千秋楽」が行われます。ぜひいにしえの「江戸天下祭絵巻」をお楽しみ

ください。また、大祭期間中3日(土)4日(日)の両日には、松本芳廣メダカによる「手打ち蕎麦接待処」が横須賀の町なか、民芸喫茶・風紋館東隣の町屋で開設されます。時間は10:00〜15:00頃まで、お気軽にお立ち寄りください。鈴木武史メダカ生徒

## ■桜の季節「姫様道中」と

「ゆかいなアート展」

浜松市北区細江町の「姫様道中」と併催の「ゆかいなアート展」は、4月3日(土)4日(日)の2日間にわたつて華やかに行われます。開催に向けて姫様道中には土井堅史メダカ、ゆかいなアート展には上嶋裕志メダカが奮闘中。アート展にはメダカ生も出展するぞ。

## ■警田市獅子ヶ鼻公園の桜まつり

4月4日(日)、警田市大平の獅子ヶ鼻公園を会場に行われる。歌や踊り、演奏など盛りだくさん。模擬店も出て彩りを添える。主催は自治会の東地区協議会。理事の鈴木正士メダカ、榊原幸雄メダカも関わる。

## ■4月24日(土)、鈴木正士メダカの大平荘で、お茶摘交流会が行われる

お茶摘みをして、タケノコを掘つて、ワラビなど野草を摘んで、手打ちそばを食べる。etc. 詳細はこれから。毎年めだか生も参加して大賑わい。参加者には正士のごだわり新茶100gが後送される。

## ■豊岡東公民館2周年記念企画

『みんなで歌おううたこえ公民館』昭和の時代、一世を風靡した「うたこえ喫茶」。こゝへきて静かなブームとか。向こうを張る訳ではないが、ちよつと下向き顔

のこの世の中、「大きな声で歌をうたつて笑顔になろう」と、4月25日(日)午後1時から3時半まで、歌って踊って演奏しての、「みんなで歌おう うたこえ公民館」を開催することになってしまいました。

地元の「よろずや楽団」、公民館の合唱団「リンデンバウム・コール」、藤田潤吉・久枝メダカ主宰の「浜松花蝶ちゃん」のちんどんなど。参加者に吹くもの、弾くもの、叩くもの、音の出るもの持参の全員で「チンドン行進」など。「フリーマーケットやりたい」の声もあり、午前10時から12時までフリーマーケットもやろうと思つている。詳細はこれから。田村進治メダカ、村田徳治メダカも大張り切り。もちろん館長のバラメダカも。めだか生も地域の人といっしょに声出そう!

## ■開校日を前に学舎をキレイに!

2月28日(日)午前9時から学舎の清掃をします。草刈り、枝打ち、料理場、教室、トイレ等。お弁当持参でお出かけを! 清掃のあとは、石野省三メダカ丹精の、いなさ湖の菜の花を賞でながらのお食事です。

## 『人・ひと・ヒト...だより』

●藤枝市の小島良之メダカ。文化活動や地域の情報発信など超多忙。2010年のメッセージ(言葉)、禅心寺住職・金子真介さんの『人生蠟燭論』を贈ってくれました。人のいのちは、「本のローソク」に火をつけたようなものである。燃えながら照らしながら、刻々刻々と減つてゆく。減つてゆくのちを、減らぬようにすることは誰にもできない。ただどこをどのように照らしてゆくか、こゝ

れだけが 人間に与えられたたったひとつの自由である。

●浜松市の武井紀夫メダカ。今年も尊敬する坂村真民さんの詩『あじさいの花』を贈ってくれました。

まるくまるく、形のよいものになろうとする。やさしい心のあじさいの花。きのうよりも、きょうと新しい色に、なろうとする。雨の日のあじさいの花。

●浜松市引佐町の石野省三メダカ。「いなさ湖の菜の花が綺麗に咲いているヨ」と言いつつ、『昨年の牛は、人間たちに振り回され本能すら失ってしまったらしい。今年も虎の出番。しっかりとしたビジョンで、虎視眈々と一歩一歩正しい方向へ向かって欲しいと願う。我慢を忘れた虎は果てる。群れて遊ぶ虎に夢あり。私も仲間・心・体をつくり、もう一歩高めていこう」と。

●浜松市細江町の松田不秋メダカ。暮れの28日、バラ宅を訪ねてきてくれた。三遠南信への思いを熱く語ってくれました。「今は飯田の人たちと諏訪へ抜ける秋葉道の文化と歴史を掘り起こした地域おこしをやっている」と。昼は天竜百古里の百古里庵で手打ちそばを。松本芳廣メダカと鈴木正士メダカのそばに馴れた舌にはちよつとねえ。近くで窯を構えている陶芸家の鈴木青宵元メダカに寄る。

これも縁か、数日後豊岡東公民館(館長バラメダカ)に訪ねてきて、意気投合。鈴木正士メダカの田んぼを借りて、「野焼きでおもしろ陶芸講座」をやれることに。伊藤英雄メダカの焼き芋もつけて……。

●島田市川根町の北島享元メダカ。合併前の川根町助役。地元笹間の体験・

宿泊施設「山村都市交流センターさま」の館長に。地域を取り巻く状況は厳しいが、山や川、食べ物、伝えられてきた暮らし等、田舎のよさを発信していきたい。みなさんの『在所(ざいしょ)』に……。

●静岡市の鈴木芳徳元メダカ。静岡科学館でバタバタと駆け回りながら少しずつ生きものなどの企画を立ち上げて、たくさんの親子に向きあって楽しくくたびれています。静岡新聞で毎月発行される『子ども科学新聞』のコラム「街角ウオッチング」だったかなア、執筆している。

●宮城県気仙沼市の牡蠣の森を慕う会代表の島山重篤さん。「舞根湾にメパチがもどってきました。森は海の恋人運動22年目の大きな喜びです。」島山さんと浜名湖は縁が深いですよ。

●磐田市の小林佳弘メダカ。三月中旬に静岡県内の「塩の道・信州街道」の沿線に伝わる歴史と伝説をまとめた冊子を出版する予定。無料の地域情報誌『ばんぶきん』を発行。地域にどっぷりと浸りながら、地域の情報発信をしている。

●浜松市天竜区の本島慎一郎メダカ。相変わらず元気いっぱいといび回っている。昨年は全国種類文化地域間交流推進協議会の素人そば打ち段位認定試験で初段に合格。味は、も・ち・ろ・ん：そば打ち姿も凛々しく。

●脱サラして手打ちそば屋になった、浜松市のそば処ふじ花の藤野利昭は、つえメダカ。館山寺フワーパーク近くに開業して7年目。日々、感謝と精進の心でやっていると。

●長野県高森町の橋都秀子元メダカ。久しく声が聞こえないと思ったら、昨年七月に長女がバリ島で結婚。10月に

は長男が結婚。11月にはこの2組の結婚披露宴。大変な年でした。一度に子どもたちの心配事が片づきやれやれです、と。DEKO果樹園、今年は大豊作間違いなしですね。

●めだかの学校大学院で講演してくれた浜松市館山寺の、浜名湖えんたの稲葉大輔さん、浜松から教育と道徳を考える官民協働の地域振興映画「書道♥ガールズ」製作する、と。浜名湖えんたの顧問は、静岡県職員で、県の観光行政で、どこまで公でどこまで私に分らないほど大車輪の溝口久メダカです。

●静岡市の高橋俊光メダカ。去年は結婚30周年、ドリームランナーズ結成、島田マラソン完走。30数年ぶりの富士登山。てんつくマンの映画にも出演。今年も東京マラソン、当りました。勤務先の駿府博物館、大丈夫？。

●掛川市の萩田博メダカ。困難のない人生は無難な人生。困難の有る人生は有難い人生。(TKC出版「元気手帳より」)。有難い人生に向かっていると、2004年に納沙布岬をスタートして北海道の海岸沿いを6年がかりで走り、今年も納沙布岬にゴールして北海道一周2500KM完走を夢みている。

●豊田市足助町で開かれた全国交流会で、「一緒に足助町・あすけ町づくり工房「塩の道づれ家」の松井芳信さん。そば屋として早や5年。2月7日から3月8日まで、足助の町並みにて「中馬のおひなさん」が開催されています。ぜひお立ち寄りください。

●こちらは足助町の青木信行さん。この3月で役場定年退職。亡き父が誇る菊づくりを受け継いで6年目。我が家の菊花展で行った「足助のかじやさん

コンサート」が縁で、私が作詞、足助のかじ屋さん広瀬明史作曲の菊花展メモリアルソング『親父の菊』をつくった、と。

●松戸市の滝川徹元メダカ。新聞記者を定年退職したあと、海上保安協会に入り、「海上保安新聞」の編集長。海上保安関係の紙面を発行。新しい出会い新鮮です、と。毎日新聞浜松支局長の時、めだかの先生をしました。

●静岡市の小野田全宏元メダカ。ボラ協の発足から関わって32年。政権が変わり戸惑うことばかりですが、自分自身を見失わないようにしたい。カレーズの会も長年の悲願の診療所と学校をアフガニスタン・カンダハールにオープンした、と。

●浜松市のバラの花づくりに精を出す句坂玲子メダカ。「この面に神サマが2つもいるワ」バラはおかげで継続！うん、このツラに神サマが2つ？ツラに神サマ、うむ。聞けばハガキの表面、榊原の神と、神ヶ谷町の神の2つ、だって。ガクツ。漢字は難しい。(笑)

●名古屋市の山根圭二メダカ。香流川の「めだかの学校」が消えそうです。かもめ、はと、鯉等々に追いやられて。「みどりの郷のめだか」大切に、だって。

※たたくさんの方から年賀状をいただきました。少しだけ使わせていただきました。お礼とお赦しを！(追伸)2月11日、生活実百科でおなじみの弁護士三瀬顕さんの人権講演でいただいた一言です。

一怒 一老 一笑 一若  
一つ怒ると一つ老い一つ笑うと一つ若くなる  
今年も笑いでいきましょう。バラメダカ。

# ヒツクス

■ありがとう！

「かがり火」複刊しました  
昨年春、129号で休刊したヒューマン  
ネットワークマガジン「かがり火」が、昨  
年12月中旬に復刊「かがり火」130号  
として発行されました。新編集長は哲学者  
で大学教授の内山節さん。内山さんは、「め  
だかの学校15周年記念『大学院』」で、基  
調講演をしてくれた先生です。

それにしても一度休刊した情報誌が一  
年も経たないで復刊するのは、こうした業  
界では珍しいことです。まさにこれは菅原  
敏一メダカが22年間全国をくまなくひざ  
を交えて取材した熱意とその人柄による  
ものです。めだかの学校便り第66号で、  
村松達雄メダカが「かがり火支局長会議に  
行ってきました」に書いているように、北  
海道から沖縄まで全国から120人以上  
の人が駆けつけてきたことから分かり  
ます。

そして12月4日の「めだかの学校」で、  
「仲間を応援しよう」と呼びかけたところ、  
多くのメダカ生が購読を申し込んでくれ  
ました。「応援読者」です。本当にありが  
とう。感謝です。

■拘りを持たない(?)「そば打ち迷人」  
風徑ヘルニアで手術 臨時休業、  
1月29日から通常営業

いやア面白いの、岐阜県祝町のそばの  
里深堂ふくどの長谷川政夫メダカ。今年に  
開業9年目。昨年、下腹部が痛いアと診  
てもらったら風徑ヘルニア。正月明けに手  
術して3週間ほど臨時休業。1月29日か

ら通常営業に戻りました。研究熱心の長谷  
川政夫メダカ。入院中蕎麦の本を何冊も持  
ち込んで、「一切の拘りを持たない」とい  
う。「迷人」を名乗るそばDA迷人、そば  
屋のオヤジの目標は、そば好きを一人でも  
多く作ることに。そのためにはソバ(栽培)、  
蕎麦(製粉)、そば(手打ち)を起すこと  
と。いよいよ油がのってきましたヨ。そ  
れはそうと、バラメダカも風徑ヘルニアを  
やりました。本は持ち込まず、若い看護師  
に囲まれて、恥ずかしいやら楽しいやらの  
一週間を過ごしました。ハイ。お大事にね。  
(バラメダカ)

■事務局だより

鬼は外、福は内、立春も過ぎて梅は満  
開。カナダでの冬季オリンピックは始まる。  
小沢さん、鳩山さん、朝青龍...と国会も巷  
もメディアは大賑わい。のぞき趣味でもの  
ぞきたくないア。めだかの学校の「そつ  
と」のぞいて...は好奇心。そう、めだかの  
学校のキーワードは、遊び心と好奇心と挑  
戦。

さて、第66回めだかの学校は、12月4  
日。校長鈴木武史、教頭加藤ひとみ、用務  
員村田徳治、村田用務員、みんなが来る前  
に、道路沿いの入り口のところに散らばっ  
ていた沢山のゴミを片付け、分別。持ち  
帰ってくれました。この三役、鈴木武史校  
長の穏やかな人柄、加藤ひとみ教頭は初々  
しい。村田用務員はまさにお手本。一時間  
理科「自然の中でポンポンポン」鈴木偉代  
先生。仕事先のホールアースのチラシを  
配って環境教育の大切さを。二時間目、化  
学「一粒のんでポンポンポン」鈴木祐之  
メダカ。まさに老舗薬局の薬剤師の若旦那。  
祖父を語り、クイズ形式で血液など体の仕  
組みを。三時間目は園工「鉄くずもらって  
モリモリアート」鈴木格子「ケイコ」先生。  
授業のことが気になって眠れなくて眠れ

なくて...。鉄アートの先生、気の強い人と  
思っていた授業も優しいに。  
あ、そうそう、新入生の紹介。野島一男  
メダカ、熊谷純子メダカ、10年ぶりの木  
村智子メダカ。思いがいつばい。でも、「長  
すぎる」とお叱り。

お楽しみのは給食は、えび芋三味。深澤明  
男メダカ、加藤ひとみ教頭差し入れのミカ  
ンも配られて。年越しの乾杯はお汁粉で。  
私語飲食全て禁止の次回3役発表。校長山  
中幸子、教頭徳増兼弘、用務員野島一男、  
「用務員野島一男!」。エーッ! すつとん  
きよの声を発して「入ったばかり!」「い  
いの、これがめだか流」。引継ぎのあいさ  
つもスムーズに。新しい2人をベテラン用  
務員の徳増教頭がリードする構図。最後は  
みんなで輪をつくって再会を!今回は片  
付けが終わった帰る人が多かった。

第67回めだかの学校の職員会議を、12  
月26日、磐田市の元氣村「味里」で開く。  
山中幸子校長、徳増兼弘教頭、野島一男用  
務員の三役と18人が出席しているもの如  
く次回テーマ・授業・先生の検討をする。  
今回は木や森の話が出て「森でいこう」と  
いうことに。一時間目社会「村松藤三郎異  
人伝」村松達雄先生。村松藤三郎さんって  
どんな人?二時間目は家庭科「木登りは  
やめて漬け物石に...」森下幸子先生。三  
時間目は国語「ちよつとやりすぎだけど  
ナシと、熱弁をふるう淑友メダカに。テー  
マは「元氣モリモリてんこ盛り おサラに  
盛ろう」に。モリは森の森と、森町の森に  
カケて。

■毎号、お詫びとお礼と...

「今度こそ2月1日に発行する!」は  
見事くずれて、今回は一番ひどい。間瀬亮  
太メダカが心配して電話を寄こすほど...。  
生原稿をFAXして「大至急打って、メー

ルで間瀬さんに送って!」と、いつも言  
われている鈴木武史メダカ・伊藤英雄メダ  
カ・本島慎一郎メダカのみなさん、ごめん  
ありがとう!。間瀬亮太メダカさん、よ  
ろしく!

■第17期の継続手続きがなされな  
い生徒は自主退学となりました。  
再入学は随時受け付けます。  
17期は、21年9月1日から22年8月31  
日までです。随時申し込みは受け付けてい  
ますが、まだ手続きしていない生徒は自主  
退学となりました。入学希望者がありまし  
たら、事務局まで連絡ください。資料と申  
込書を送ります。

■お知らせとお願い  
村松達雄メダカ、めだかの学校のブログ  
を作っています。めだかの学校の活動や告  
知したいことなどありましたらご連絡く  
ださい。送付先は、〒437-0216 森  
町天宮1079の3 村松達雄、TEL  
538-85-4037 メール  
は、tazomori@gmail.com

■めだかの学校だよりの原稿を!  
次回の発行日は平成22年5月1日、原  
稿の締切りは4月20日です。事務局まで  
郵便かFAXで。メールの方は、  
《mabuchi-trd@r.tnc.ne.jp》  
間瀬亮太090-5009-0986です。  
(メールの方は割付の関係もあるので「報せ」)

■めだかの学校の事務局  
〒438-0105 静岡県磐田市家田52  
9番地20 榊原幸雄方 TEL053  
9-62-6691 (FAX同じ)  
※学舎「みどりの郷」には電話はありません。  
連絡・お問合せは事務局へ。

